

2025年度 国際共創学部カリキュラムマップ

大学の定める全学的な学位授与の方針に基づき、国際共創学部が示す以下の知識や能力、姿勢を身に付けることができるように国際共創学部の教育課程を編成し、所定の単位を修得して卒業認定ができた学生に対して、学士（国際共創）を授与します。

(国際共創学部CP2)
 学科専攻科目の基盤科目、専門科目及び発展科目では、専門的な知識・技能、実践的な語学力、国際感覚と多様な価値観に基づく柔軟な洞察力・構想力、多様な人々と共創できる共感力・実践力を身につける科目を編成する。

(国際共創学部CP3)
 国際共創学部の学びの基盤となる演習（ゼミナール）科目を各年次において必修科目として編成する。
 ・1年次に専任教員が担当する「アカデミックスキルⅠ」「アカデミックスキルⅡ」を置き、大学で主体的に学ぶうえでの意識と技能（思考力・情報活用力）を身につける。
 ・演習科目では、各学問領域からのアプローチ（知識）により課題を発見し、継続的な調査・研究をすることで、専門的な課題解決に必要な力（洞察力、構想力、共感力、実践力）を身につける。

国際共創学部DP1 【洞察力・構想力】	国際共創学部DP2 【知識・技能】	国際共創学部DP3 【共感力・実践力】
①グローバルな視点を持って、本質的な課題について、発見し、考察できる(洞察力)。 ②関心のある「社会・文化」「経済・経営」の課題に対して、解決に向けて立案できる(構想力)。	③国内外の「社会・文化」「経済・経営」に関する知識を身につけている(知識)。 ④国内外の情報や知見を収集・調査・分析することができる(技能)。	⑤語学を活用し、多様な人々の考えを理解し、コミュニケーションをとることができる(共感力)。 ⑥多様な文化的背景を持つ人々とつながり、共創に向けて行動できる(実践力)。

区分/CP	科目名	洞察力	構想力	知識	技能	共感力	実践力
A-1	国際共創入門	○	○	○	○		
	経済学概論Ⅰ	○	○	○	○		
	経済学概論Ⅱ	○	○	○	○		
	社会学概論	○	○	○	○		
	情報化社会と技術	○	○	○	○		
	データ分析と活用	○	○	○	○		
	社会調査法入門	○	○	○	○		
	ロジカルシンキング	○	○	○	○		
	Development of Multicultural Awareness	○	○	○	○		
	Basic English A	○	○	○	○		
Basic English B	○	○	○	○			
A-1合計	◎ ○	0 11	0 11	0 11	0 11	0 0	0 0
A-2	国際経済論	○	○	○	○		
	国際社会論	○	○	○	○		
	国際文化論	○	○	○	○		
	グローバルビジネス基礎	○	○	○	○		
	経済情報分析	○	○	○	○		
	Global Issues	○	○	○	○		
	Japanese Culture	○	○	○	○		
A-2合計	◎ ○	0 7	0 7	0 7	0 7	0 0	0 0
B-1	文化人類学	○	○	○	○		
	宗教と社会	○	○	○	○		
	社会思想史	○	○	○	○		
	社会心理学	○	○	○	○		
	社会システム論	○	○	○	○		
	国際社会と人権	○	○	○	○		
	ジェンダーと法	○	○	○	○		
	政治学	○	○	○	○		
	多文化コミュニケーション	○	○	○	○		
	国際社会と日本文化	○	○	○	○		
	世界経済史	○	○	○	○		
	アジア経済論	○	○	○	○		
	日本経済論	○	○	○	○		
	グローバル企業論	○	○	○	○		
	アカウンティング	○	○	○	○		
	NGO・NPO論	○	○	○	○		
	認知科学	○	○	○	○		
クリエイティブシンキング	○	○	○	○			
リーダーシップ論	○	○	○	○			
キャリア開発論	○	○	○	○			
B-1合計	◎ ○	0 20	0 20	0 20	0 20	0 0	0 0
B-2	多文化共生論	○	○	○	○		
	共生社会論	○	○	○	○		
	平和と紛争	○	○	○	○		
	アジア文化論	○	○	○	○		
	文化政策	○	○	○	○		
	生活文化論	○	○	○	○		
	現代文化論	○	○	○	○		
	地域研究A	○	○	○	○		
	地域研究B	○	○	○	○		
	地域研究C	○	○	○	○		
	福祉社会論	○	○	○	○		
	メディアと社会	○	○	○	○		
	国際関係論	○	○	○	○		
	国際社会と外交	○	○	○	○		
	国際開発論	○	○	○	○		
	国際保健論	○	○	○	○		
	国際社会と教育	○	○	○	○		
	国際協力論	○	○	○	○		
	環境と社会	○	○	○	○		
	公共政策	○	○	○	○		
	環境政策	○	○	○	○		
	まちづくり論	○	○	○	○		
	都市デザイン論	○	○	○	○		
環境デザイン論	○	○	○	○			
アートマネジメント	○	○	○	○			
地方創生論	○	○	○	○			
中小企業政策	○	○	○	○			
ローカルガバナンス論	○	○	○	○			
パブリックマネジメント	○	○	○	○			
社会ネットワーク論	○	○	○	○			
ボランティア論	○	○	○	○			
ソーシャルキャピタル論	○	○	○	○			

区分/CP	科目名	洞察力	構想力	知識	技能	共感力	実践力
	地域イノベーション	○	○	○	○		
	地域産業論	○	○	○	○		
	情報産業論	○	○	○	○		
	観光産業論	○	○	○	○		
	ツーリズム論	○	○	○	○		
	事業創造論	○	○	○	○		
	社会的企業論	○	○	○	○		
B-2合計	◎ ○	0 39	0 39	0 39	0 39	0 0	0 0
C-1	グローバル・リサーチA	○	○			○	○
	グローバル・リサーチB	○	○			○	○
	ローカル・リサーチA	○	○			○	○
	ローカル・リサーチB	○	○			○	○
	国際共創プログラム	○	○			○	○
	グローバルビジネス・スタディ	○	○			○	○
	ローカルビジネス・スタディ	○	○			○	○
C-1合計	◎ ○	0 7	0 7	0 0	0 0	0 7	0 7
C-2	Reading and Writing A	○	○			○	○
	Reading and Writing B	○	○			○	○
	Listening and Speaking A	○	○			○	○
	Listening and Speaking B	○	○			○	○
	English Communication A	○	○			○	○
	English Communication B	○	○			○	○
	Advanced English (Discussion)	○	○			○	○
	Advanced English (Presentation)	○	○			○	○
	Advanced English (Debate)	○	○			○	○
	Urban Geography	○	○			○	○
	Regional Environment and Sustainability	○	○			○	○
	Development and Management	○	○			○	○
	Peace and Coexistence	○	○			○	○
	英語学概論	○	○			○	○
	英語音声学	○	○			○	○
	英文法	○	○			○	○
英語文学A	○	○			○	○	
英語文学B	○	○			○	○	
C-2合計	◎ ○	0 18	0 18	0 0	0 0	0 18	0 18
D	アカデミックスキルI	○	○	○	○	○	○
	アカデミックスキルII	○	○	○	○	○	○
	演習I	○	○	○	○	○	○
	演習II	○	○	○	○	○	○
	演習III	○	○	○	○	○	○
	卒業研究I	○	○	○	○	○	○
	卒業研究II	○	○	○	○	○	○
D合計	◎ ○	0 7	0 7	0 7	0 7	0 7	0 7
全体合計	◎ ○	0 109	0 109	0 84	0 84	0 32	0 32

これらの教育課程における各科目の学生の成績については、シラバスに記載する成績評価方法（「定期試験」「レポート」「発表」等）を用いて評価する。また、本学の「アセスメント・プラン」に基づき、様々な角度からの評価（GPAや単位修得状況、カリキュラムマップ、外部アセスメントテスト等）をすることにより、学生の学修成果を測定するとともに、教育課程全体の評価・検証の状況を把握し、改善につなげていく。なお、各授業科目の評価・検証については、担当者以外の教員によるシラバス相互チェックによって質の保証を担保する。くわえて、授業評価アンケートを学生に対し実施することで、教育課程の改善につなげていく。

教育成果の可視化(全体)

